



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
 コード番号 6464 URL http://www.tsubaki-nakashima.com

代表者（役職名） 取締役兼代表執行役 CEO（氏名） 高宮 勉
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼専務執行役 CFO（氏名） 小原 シェキール（TEL）06-6224-0193

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半 期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	34,991	27.1	4,416	△16.7	3,802	△8.6	2,454	△19.7	2,454	△19.7	2,610	—
28年12月期第3四半期	27,533	△7.5	5,299	△6.9	4,161	△19.2	3,056	△19.9	3,057	△19.8	△2,127	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
29年12月期第3四半期	62.03		60.57									
28年12月期第3四半期	76.75		75.54									

（参考）

EBITDA 29年12月期第3四半期 5,794百万円（10.8%減） 28年12月期第3四半期 6,497百万円

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	134,319	44,331	44,307	33.0
28年12月期	93,382	44,011	43,992	47.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	30.00	—	33.00	63.00
29年12月期	—	31.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	33.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,300	33.7	6,650	△3.9	5,700	△11.1	3,700	△20.1	93.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 9社(社名) TN TENNESSEE, LLC他、除外 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	40,261,600株	28年12月期	40,029,700株
29年12月期3Q	571,075株	28年12月期	571,075株
29年12月期3Q	39,574,566株	28年12月期3Q	39,824,707株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、地政学リスク懸念による不透明感があったものの、米国経済は内外景気の回復に支えられ堅調に推移し、欧州でも緩やかな成長が続きました。中国においては継続的な成長の中、新製品及び高品質・省力化を求める設備／工作機械の強い成長が見られました。国内においても、企業収益や雇用情勢の改善などがみられ、緩やかな回復基調が続いております。

この様な状況の中、確固たる既存事業の推進に加え、NN, INC. (NASDAQ:NNBR) 社から精密ベアリング部品 (Precision Bearing Components) 事業 (以下、「PBC事業」) を取得し、飛躍的な利益ある成長に向けての事業活動を開始しました。当第3四半期連結累計期間の売上収益はマクロ経済成長を上回る前年同四半期比27.1%増の34,991百万円 (在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は26.3%増、内旧PBC事業の売上収益は約1.5ヶ月分の4,088百万円) となりました。また、主要株主の異動を伴う株式の売出しを実施し、株主構成の安定化を実現しました。

利益面につきましては、当第3四半期連結累計期間におきまして、PBC事業買収、株式売出し等の一時的な費用が発生した事により、営業利益は前年同四半期比16.7%減の4,416百万円 (一時費用及び在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は13.9%増、内旧PBC事業の営業利益は約1.5ヶ月分の456百万円) となり、一時費用調整後の営業利益は6,057百万円と過去最高を達成しました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比19.7%減の2,454百万円 (一時費用及び在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は12.6%増、内旧PBC事業の親会社の所有者に帰属する四半期利益は約1.5ヶ月分の320百万円) となりました。

このように、当社グループは「“Further Profitable Growth (さらなる利益ある成長)” を実現し、企業価値を継続的に創造し続ける輝く企業を目指す」という経営理念のもと、飛躍的な利益ある成長を開始し“新生ツバキ・ナカシマ”として、社会とお客様に一層貢献できる企業を目指し努力を継続していく所存であります。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間において、PBC事業の譲受けを目的とした株式取得によりTN TENNESSEE, LLC他8社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来の「ボールビジネス」を「プレジジョン・コンポーネントビジネス」にセグメントの名称を変更しております。

プレジジョン・コンポーネントビジネス

プレジジョン・コンポーネントビジネスの売上収益は、前年同四半期比29.5%増の30,821百万円 (在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は28.7%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) につきましては、前年同四半期比16.6%減の3,995百万円 (一時費用及び在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は15.9%増) となりました。

リニアビジネス

リニアビジネスの売上収益は、前年同四半期比12.8%増の3,890百万円 (在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は11.8%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) につきましては、前年同四半期比30.8%減の168百万円 (一時費用及び在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は5.5%減) となりました。

その他

その他の売上収益は、前年同四半期比0.0%減の280百万円 (在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は0.0%減) となりました。セグメント利益 (営業利益) につきましては、前年同四半期比4.4%減の253百万円 (在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は4.4%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間におきましてPBC事業買収を完了しており、当第3四半期連結会計期間末の要約四半期連結財政状態計算書には旧PBC事業が含まれております。

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前期末に比べ4,739百万円増加し50,523百万円となりました。これ

はPBC事業買取資金の一部を手元資金から支出したことで現金及び現金同等物が8,567百万円減少したこと、また、営業債権及びその他の債権が6,270百万円、たな卸資産が6,509百万円増加したことによります。

非流動資産は前期末に比べ36,198百万円増加し83,796百万円となりました。これは有形固定資産が10,654百万円、無形資産及びのれんが25,439百万円増加したことによります。

流動負債は前期末に比べ5,593百万円増加し10,435百万円となりました。これは営業債務及びその他の債務が4,093百万円、その他の流動負債が1,769百万円増加したことによります。

非流動負債は前期末に比べ35,024百万円増加し79,553百万円となりました。これは借入金が33,831百万円増加したことによります。

資本は前期末に比べ320百万円増加し44,331百万円となりました。資本金が119百万円、資本剰余金が118百万円、その他の資本の構成要素が155百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は10,565百万円と前連結会計年度末と比べ8,567百万円の減少となりました。当第3四半期連結連結会計期間の各活動におけるキャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,983百万円の収入となりました。主な要因は税引前四半期利益が3,802百万円となり、減価償却費及び償却費1,378百万円、為替差損益108百万円、営業債務及びその他の債務の増加572百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額353百万円、法人所得税等の支払額2,093百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは43,258百万円の支出となりました。主な要因は子会社株式の取得による支出42,272百万円、有形固定資産の取得による支出994百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは31,589百万円の収入となりました。主な要因は長期借入れによる収入34,000百万円、配当金の支払額2,514百万円、借入金の返済による135百万円の支出、新株予約権の行使による238百万円の収入によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年12月期通期の業績予想につきましては、2017年8月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(プレジジョン・コンポーネントビジネス関連)

当第3四半期連結会計期間において、株式取得に伴い、TN TENNESSEE, LLC他8社を連結子会社しております。

この結果、2017年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社24社により構成されることとなりました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,132	10,565
営業債権及びその他の債権	10,282	16,552
たな卸資産	16,110	22,619
その他の流動資産	260	787
流動資産合計	45,784	50,523
非流動資産		
有形固定資産	19,104	29,758
無形資産及びのれん	24,306	49,745
投資不動産	3,755	3,755
その他の投資	187	255
繰延税金資産	184	173
その他の非流動資産	62	110
非流動資産合計	47,598	83,796
資産合計	93,382	134,319
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,170	6,263
借入金	155	155
未払法人所得税等	900	631
その他の流動負債	1,617	3,386
流動負債合計	4,842	10,435
非流動負債		
借入金	38,762	72,593
退職給付に係る負債	2,125	2,642
繰延税金負債	2,126	2,428
その他の非流動負債	1,516	1,890
非流動負債合計	44,529	79,553
負債合計	49,371	89,988
資本		
資本金	16,299	16,418
資本剰余金	10,472	10,590
自己株式	△971	△971
その他の資本の構成要素	△2,305	△2,150
利益剰余金	20,497	20,420
親会社の所有者に帰属する持分	43,992	44,307
非支配持分	19	24
資本合計	44,011	44,331
負債及び資本合計	93,382	134,319

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月 1日 至 2017年9月30日)
売上収益	27,533	34,991
売上原価	19,682	25,682
売上総利益	7,851	9,309
販売費及び一般管理費	2,646	4,968
その他の収益	110	97
その他の費用	16	22
営業利益	5,299	4,416
金融収益	42	29
金融費用	1,180	643
税引前四半期利益	4,161	3,802
法人所得税費用	1,105	1,348
四半期利益	3,056	2,454
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,057	2,454
非支配持分	△1	△0
四半期利益	3,056	2,454
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	△2	—
純損益に振り替えられない項目の合計	△2	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△5,104	50
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△63	64
売却可能金融資産の公正価値の変動	△14	42
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△5,181	156
税引後その他の包括利益	△5,183	156
四半期包括利益	△2,127	2,610
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,124	2,609
非支配持分	△3	1
四半期包括利益	△2,127	2,610
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	76.75	62.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	75.54	60.57

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2016年7月 1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2017年7月 1日 至 2017年9月30日)
売上収益	9,104	14,338
売上原価	6,490	10,775
売上総利益	2,614	3,563
販売費及び一般管理費	931	2,619
その他の収益	59	32
その他の費用	0	20
営業利益	1,742	956
金融収益	9	175
金融費用	249	423
税引前四半期利益	1,502	708
法人所得税費用	460	530
四半期利益	1,042	178
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,043	178
非支配持分	△1	0
四半期利益	1,042	178
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△343	112
キャッシュ・フロー・ヘッジ	34	21
売却可能金融資産の公正価値の変動	5	△1
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△304	132
税引後その他の包括利益	△304	132
四半期包括利益	738	310
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	738	309
非支配持分	0	1
四半期包括利益	738	310
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	26.14	4.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	25.82	4.39

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	確定給付制度 の再測定	在外営業 活動体の 為替換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2016年1月1日 残高	16,165	10,343	—	0	—	463	△336
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2	△5,102	△63
四半期包括利益	—	—	—	—	△2	△5,102	△63
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
株式の発行	56	55	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	0	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
利益剰余金へ振替 所有者との取引額等 合計	—	—	—	—	2	—	—
2016年9月30日 残高	16,221	10,398	△0	△0	2	△4,639	△399

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資 産の公正価値の 変動	合計				
2016年1月1日 残高	△0	127	18,399	45,034	19	45,053
四半期利益	—	—	3,057	3,057	△1	3,056
その他の包括利益	△14	△5,181	—	△5,181	△2	△5,183
四半期包括利益	△14	△5,181	3,057	△2,124	△3	△2,127
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
株式の発行	—	△0	—	111	—	111
剰余金の配当	—	—	△2,508	△2,508	—	△2,508
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
新株予約権の失効	—	△0	—	△0	—	△0
利益剰余金へ振替 所有者との取引額等 合計	—	2	△2	—	—	—
2016年9月30日 残高	△14	△5,052	18,946	40,513	16	40,529

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2017年1月1日 残高	16,299	10,472	△971	0	△1,968	△332
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	49	64
四半期包括利益	—	—	—	—	49	64
株式の発行	119	118	—	△0	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	0	—	—
企業結合	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	119	118	—	△0	—	—
2017年9月30日 残高	16,418	10,590	△971	0	△1,919	△268

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2017年1月1日 残高	△5	△2,305	20,497	43,992	19	44,011
四半期利益	—	—	2,454	2,454	△0	2,454
その他の包括利益	42	155	—	155	1	156
四半期包括利益	42	155	2,454	2,609	1	2,610
株式の発行	—	△0	—	237	—	237
剰余金の配当	—	—	△2,531	△2,531	—	△2,531
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
企業結合	—	—	—	—	4	4
所有者との取引額等合計	—	△0	△2,531	△2,294	4	△2,290
2017年9月30日 残高	37	△2,150	20,420	44,307	24	44,331

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月 1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,161	3,802
減価償却費及び償却費	1,197	1,378
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	45	△18
受取利息及び受取配当金	△22	△24
支払利息	331	349
為替差損益(△は益)	896	108
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	501	△148
たな卸資産の増減額(△は増加)	△619	△414
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	653	572
その他	△612	△200
小計	6,531	5,405
利息及び配当金の受取額	13	24
利息の支払額	△330	△353
法人所得税等の支払額	△1,902	△2,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,312	2,983
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△537	△994
子会社株式の取得による支出	—	△42,272
その他	△24	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△561	△43,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	34,000
短期借入金の返済による支出	—	△34,000
長期借入れによる収入	—	34,000
長期借入金の返済による支出	△135	△135
新株予約権の行使による収入	113	238
配当金の支払額	△2,433	△2,514
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,455	31,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,328	119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32	△8,567
現金及び現金同等物の期首残高	17,219	19,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,187	10,565

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」、「リニアビジネス」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密球、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。「その他」は、不動産の賃貸等を行っております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

当第3四半期連結会計期間において、NN, INC. グループが営む精密ベアリング部品 (Precision Bearing Components) 事業 (以下「PBC事業」といいます。) の譲受けを目的とした株式取得により TN TENNESSEE, LLC他8社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来の「ボールビジネス」を「プレジジョン・コンポーネントビジネス」にセグメントの名称を変更しております。

なお、前連結会計年度の報告セグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)

(単位：百万円)

	プレジジョン・コンポーネントビジネス	リニアビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期連結財務諸表
売上収益						
外部収益	23,803	3,450	280	27,533	—	27,533
セグメント間収益	2	0	32	34	△34	—
連結収益合計	23,805	3,450	312	27,567	△34	27,533
セグメント利益	4,793	242	264	5,299	0	5,299
				金融収益		42
				金融費用		△1,180
				税引前四半期利益		4,161

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	30,821	3,890	280	34,991	—	34,991
セグメント間収益	3	1	33	37	△37	—
連結収益合計	30,824	3,891	313	35,028	△37	34,991
セグメント利益	3,995	168	253	4,416	0	4,416
				金融収益		29
				金融費用		△643
				税引前四半期利益		3,802

- (注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- 2 「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の区分には、2017年8月17日の取得日以降のPBC事業の業績が含まれています。
- 3 PBC事業の譲受けを目的とした株式取得によりTN TENNESSEE, LLC他8社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の報告セグメント資産は112,046百万円となっています。

前第3四半期連結会計期間(自2016年7月1日至2016年9月30日)

(単位:百万円)

	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	7,853	1,158	93	9,104	—	9,104
セグメント間収益	2	0	10	12	△12	—
連結収益合計	7,855	1,158	103	9,116	△12	9,104
セグメント利益	1,585	75	82	1,742	0	1,742
				金融収益		9
				金融費用		△249
				税引前四半期利益		1,502

- (注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第3四半期連結会計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	13,015	1,229	94	14,338	—	14,338
セグメント間収益	1	1	11	13	△13	—
連結収益合計	13,016	1,230	105	14,351	△13	14,338
セグメント利益	856	18	82	956	0	956
				金融収益		175
				金融費用		△423
				税引前四半期利益		708

- (注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- 2 「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の区分には、2017年8月17日の取得日以降のPBC事業の業績が含まれています。
- 3 PBC事業の譲受けを目的とした株式取得によりTN TENNESSEE, LLC他8社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の報告セグメント資産は112,046百万円となっています。